



発行所 竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
上郷町黒田22-5353

人口 5,892人
男子 2,830人
女子 3,062人
世帯数 1,608戸
(6月末日現在)

育てよう すこやかな心身 つくろう 明るい郷土

昭和六十年竜丘公民館事業計画は、五月九日の委員総会で決定された。今日迎えている混迷の社会の中で、公民館としての活動は...

基本方針の五つの柱は次の通りである。

- ①地域や生活に密着した課題を掘り起こし、その学習を展開して住民自らの手による地域づくりを推進する。
②地域住民の自由な学習・交流の機会を保障し、その活動が活発かつ自主的運営ができるよう援助する。
③社会体育活動の内容充実と底辺拡大をはかる。
④地域住民にとって最も身近な分館活動を重視し、その一層の内容充実を期す。
⑤「育てようすこやかな心身」「つくろう明るい郷土」を竜丘のキャッチフレーズとして活動の指針とする。

【企画会議】

公民館の目標を達成するため、随時開催して活動内容の評価・調整を行う。

【分館長・主事会】

各分館相互の連携を深めその内容充実を期す。

【文化委員会】

明日のよりよい竜丘づくりのための学習活動を行う。特に、健康問題と地域づくりに考えるセミナー(心・身体・健康)・成人式・市民大学講座・敬老会・文化祭・新春放談会・婦人団体連絡会

【体育委員会】

婦人・中高年層層のスポーツ人口の定着と拡大、健康体操の普及に努める。マナー化打破のためのスポーツ、趣味調査等を実施し、摸索の年とする。

【学級・講座等】

新しい学級、講座の開設。地域づくり、健康問題セミナーからのグループ学習の展開。

【広報委員会】

地域への広報、公聴活動を行う。研修を行う。

【民俗資料保存委員会】

有形・無形民俗資料の収集保存活動を行い、地域に公開していく。

【桐林分館】

盆踊り大会。クラブ発表会。運動会。

【時又分館】

親と子の習字教室。親子遠足。映画会。区民運動会。しつけ講座。おんび。

【長野原分館】

「大井」を語る会。区民ゲートボール大会。女子バドミントン大会。女子バドミントン大会。

【駄科分館】

十二薬師めぐり。生活改善委員会。夏まつり。駄科ゲートボール大会。

上達めざして 一手一手

駄科将棋クラブ

今回のグループ紹介は、駄科将棋クラブ(下平亮代表、会員二十名)を取材させていただきました。この将棋クラブは、六月より毎月第一・第三・第五土曜日に七月からは毎土曜日に駄科公民館で部活の愛好者が将棋と駒を持ち寄り、パチリ、パチリと、何んとも良い雰囲気の中、和やかに、真剣に指しています。集まる会員も小学生から六十代の方まで幅広い年代です。講師ということで、特に段を持った指導者は招いていないようですが、好きこそ物の上手なりのとおりなじつくり指す人、速く指す人、いろいろな指し方、老若男女が気軽に参加できるような場がもっと増えることを願っています。益々のご発展をお祈りし、ペンを置きます。



熱戦のうちに夜は更けて

個性あふれる分館活動

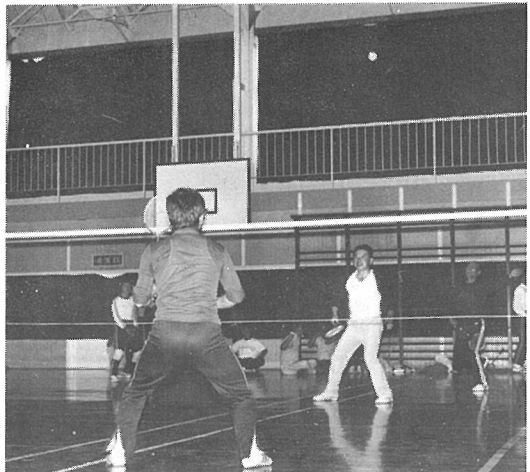
地域に根ざした公民館活動推進の核である分館活動は、それぞれの特色を生かして個性豊かな事業計画になっており、各分館の活動が期待される。各分館の目玉事業は次の通りである。
【桐林分館】盆踊り大会。クラブ発表会。運動会。
【時又分館】親と子の習字教室。親子遠足。映画会。区民運動会。しつけ講座。おんび。
【長野原分館】「大井」を語る会。区民ゲートボール大会。女子バドミントン大会。女子バドミントン大会。
【駄科分館】十二薬師めぐり。生活改善委員会。夏まつり。駄科ゲートボール大会。

昭和60年度 竜丘公民館委員名簿

Table listing committee members including 館長 田中 興, 主事 牧内 良仁, 文化委員会 委員長 小林 天生, etc.

歓声にうなされて 春のスポーツ大会開かれる

年々盛んになる、公民館主催の体育大会が、今年も去る五月十二日分館対抗フットボール大会、六月二日同ゲートボール、バドミントン大会が、竜丘小グラウンド・体育館で絶好のスポーツ日和の中、開催されました。まずフットボール大会では、自称一流選手の快打・好守に混り、珍プレー・迷プレーも、随所にみられましたが、各選手真剣に白球を追いかけました。舌戦の方も又、熱戦が行なわれる等、一日中歓声と笑い声がグラウンドに響いていました。その結果男女共優勝



勝利に向けて スマッシュ!

人事 section with photos and names of staff members like 吉沢利津子, 牧内良仁, etc.

昭和60年度各種団体名簿

Table listing various organizations like 自治協議会, 消防団, 防犯防犯委, etc.

うっとうしい梅雨もあけ二週間以上も真夏日の続く今日この頃... 連続降水量が100mmを越すと、雨による災害が起り始めるという。近頃は道路舗装され、側溝も整備されて又、土地の宅地化が進み一度に多量の雨水が、河川に流れ込む様になり、小さな河川の増水や越水の危険が出て来ている。このような事のないよう普段から、家の附近などの水路、河川のごみ等を取り除いておく必要がある。又、天竜川恒久治水対策の一環として、川路地籍では堆積した土砂を取り除き、河床を掘り下げの工事をしていくが、長期的展望の上に立った治水対策の早期実現を望みたい。
◎地区内にゴミ焼却場が建設される運びである。生活が豊かになればなる程、ゴミの量は増大する。古くは物、壊れた物がゴミ集取場所へ集まって来る。少し手を加えれば、まだ使える物までもが、新しい物、便利な物に目がいくのは当然である。しかしこれでは「物の尊さ」を、いっさい誰れが子供らに伝えていくのだろうか。
◎竜丘にグラウンドが建設されるが分館ではどうだろうか。社会体育活動の底辺拡大とは、普及スポーツから遠ざかっている人に、機会と場所を与えることによって面白さが解かり拡大へとつながる。その為にも分館に、誰れもが気軽に利用して利用できる広場的な場所が今後必要になり、確保していくことが望まれる。
◎梅雨明けと共に暑い夏がやってきた。子供達は水を求めてプールや川に集まり水遊びに熱中する。子供の水難事故は痛ましいものはない。危険な川や池での遊びを見かけたら、見て見ぬ振りをするのではなく、叱る事が出来る「大人」になりたいたいものだ。

変貌する竜丘“桐林開発構想”

びるだに託す地区民の期待

◇…桐林びるだ地籍を中心とした一連の開発構想が、現在竜丘のみならず飯田市全体の関心を集め、その行く末が注目されている。

◇…地元である竜丘としては、これらの構想が現実のものとなれば、今迄の産業、経済、文化等様々な面で大きな変化が予想される為、地区民に一連の構想を明らかにし、今大きく変わろうとしている竜丘の将来を共に考え、住民本位の開発構想を作り上げて行きたい。

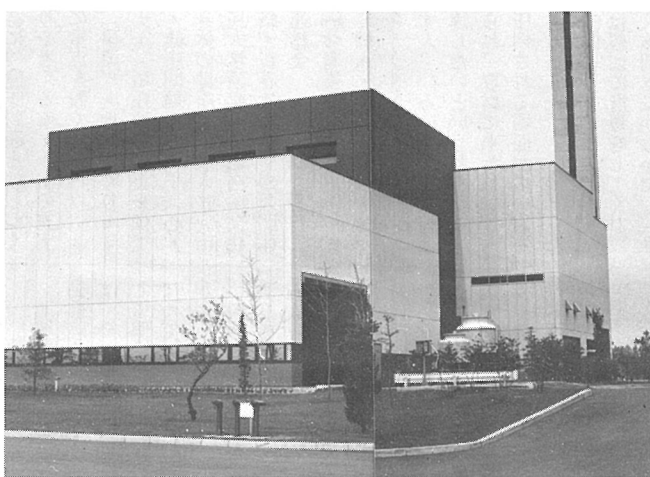
現在注目されている桐林上段開発は、興亜電工(株)移転、天竜川恒久治水対策、ランド問題、ゴミ焼却場問題等様々な構想が描かれており、これ迄の経過を振り返ってみると……

(一)国道一五二、桐林塚原地籍より上段にある、びるだ地籍(三・一ha)へ興亜電工(株)の立地が本決まりとなり、取付道も開設。

(二)天竜川恒久治水対策として、土盛りが必要な土取場の指定を、びるだ奥地山林一帯へ予定する。(竜丘分一六ha、一〇〇万㎡位)

(三)土取場予定地への取付道を墓地公園まで延長し、更に宮洞線と結び先線を日井原伊賀良方面に結ぶ道路計画が、従来より検討し要望されていた。

四土取場の跡地を、テクノハイランド(企業団地)構想で活用する。(市は県指定をすべく着目、用地は買



最新設備を誇る佐久クリーンセンター (5.10先進施設視察より)

収方式による)

(四)竜丘地区で長年要望してきたランドの用地確保の為、市営墓地公園第二計画の取り止めを予定している市有地一・九haの割愛を受け

け転用利用したい。(六)飯田衛生施設組合の管理する現在の焼却場が、松尾地区より他地区へ移転を六十年三月末日までに明示すべく、迫られていた。

(七)無害で心配のないとされるゴミ焼却場の建設候補地として、桐林地域を検討された旨、市より要望があった。

(八)昔の焼却場は、煙をモクモク上げる迷惑施設であったが、現在の焼却場は、煙や臭気をほとんど浄化する事ができ、迷惑どころか有益施設として、活用されつつある。但し、過去において、施設の不完全さから迷惑施設としてのイメージが強く、地域分担すべきとの条件の要望が、感情面での先行的に取り沙汰されてきた。

(九)びるだ上段及び墓地公園周辺地に、桐林・駄科地区の区有林が広く点在しており、現在及び将来にかけて財産区有林地(管理者市長)の管理と土地利用が、課題となっている。

(十)桐林上段地帯における道路網が、比較的立ち遅れており、大瀬木駄科線と結ぶ上北駄科線・宮洞先線・上川路日井下中村線等の改良促進が、長年の懸案となっている。

(十一)公共施設としての焼却場立地により、余熱利用・場立地により、余熱利用・

の扉が開けられ十二年に一度の行事を終え、また閉じられました。はたして十二年後の竜丘はどう変わっていくのでしょうか。

人口も増え農業が主であったこの竜丘も商業中心にどんどん変わりつつあり

ふるさと探訪

駄科お薬師様

下伊那でも旧小笠原領内だけにあるという十二薬師の二つが駄科の二薬師を回り願ったところ、二薬師を回り願ったところ、目の病いが直った事から領内の民からも信仰を受けたと言われます。

駄科にある阿羅多堂は古くから駄科村で維持されて来ました。本尊の薬師如来は薬壺を持っており、人々を病いや悩みから救うといわれています。竜丘の中で薬師堂のもつ歴史は上川路の開善寺と肩を並べるものであると言われます。

現在ある建物は徳川時代のものといわれていますが、その後数回手を加えられ、屋根は葺き直されたため現在ははから模様のトタン



人々の心のよりどころ「阿羅多堂」

運搬路整備・グラウンド及び体育施設等一連の開発が、有機的に役立ち、短期間の促進が期待される。

以上が、桐林びるだ上段開発のきっかけと構想であるが、今後解決していかなければならない課題は多い。

(公害問題)

この度の桐林に予定されているゴミ焼却場は、電気集じん装置、乾式塩化水素除去装置(ビニール類より出るガスの除去)等の設備により、排煙(ばいじん、硫酸酸化物、窒素酸化物、塩化水素)は、大気汚染防止法で地域ごと定められた数値より大幅に少なく、又汚水、悪臭、振動、騒音などの心配のないものとして最新の防止策をとっているとの事である。

しかし他市における先進施設でも数年しか経過しておらず、現在不安がないとしても将来については未知数です。たとえ二十数億円をかけた施設であっても故障、事故等が発生した場合、公害発生の可能性が出た場合、運転停止など必要かつ適切な措置はとれるのか、又、誰が監視するのかなどの対応を明らかにしていく必要があります。

(道路問題) 飯田市、上郷町、松川町、豊丘村、喬木村と多方面からのゴミ運搬が予想されます。従って、焼却場へのゴミ運搬路の整備は、ゴミ焼却場建設に先立って整備されなくてはなりません。

(治水対策) 桐林上段の開発予定地は保安林などの近接地です。山林の伐採、造成などによる周辺区域や下流域(日井川、駒沢川等)への影響などを充分調査し、対策を万全なものにして行く必要があります。

(自然環境と文化) 興亜電工の取り付け道路工事の際に、二カ所の古墳があった様に、桐林びるだ上段には、数多くの古墳が点在しています。又、近く



開発進むびるだ地籍電工取付道路

次代に残そう 埋蔵文化

桐林(びるだ)地籍

市教育委員会が進めている赤田二号墳緊急発掘調査で、県下初の方形台状墓が見つかりました。築造年代は弥生時代後期(三世紀末〜四世紀初頭)だと思えます。竜丘地区は、県下でも有数の古墳の密集地で、特に桐林の塚原はその名のとおり古墳が集中分布しています。

古墳というのは、古墳時代(四〜七世紀)の豪族層の墓ですが、今回発見され

あの人

この人

四月一日、五月三十一日届出分

◎永遠に幸あれ

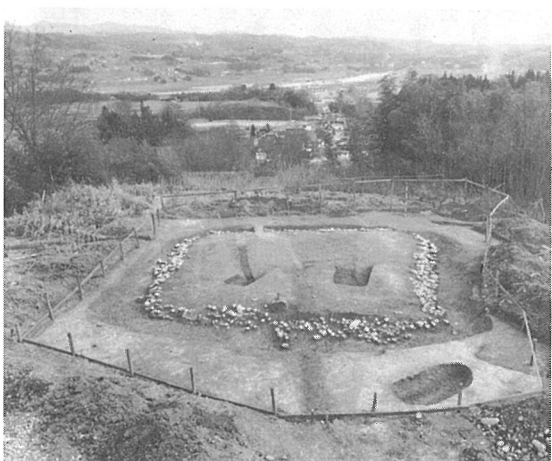
- 近藤 眞司 駄科
- 市澤 ちづ 豊丘村より
- 塚平利久郎 上川路
- 高坂 佳子 川路より
- 齊藤 隆 時又
- 松村智恵子 伊賀良より
- 太田 逸雄 宮田村
- 原 範子 桐林より
- 滝沢 淑文 駄科
- 福興 良子 上久堅より
- 奥村 時夫 長野原
- 那木 昌美 松尾より
- 加藤 定彦 駄科
- 桐生 睦子 上久堅より
- 高島 誠 桐林
- 古瀬 由美 江戸町より
- 岡島 敬一 駄科
- 園原 民子 立石より

◎伸びよ健やかに

- (氏名) (区) (父)
- 増田 綾香 駄科 理一
- 市瀬 真理 時 晴夫
- 小林 千明 時 比呂志
- 宮澤 伸行 上 聖
- 小林 共喜 長 聖
- 岡村智恵美 桐 重夫
- 市川 誠 駄科 増雄
- 松下 諒子 時 重雄
- 矢花 美月 長 久慶
- 福沢あゆみ 桐 克己

◎ご冥福を祈る

- 清水 肇 上男 72
- 代田次郎 長男 76
- 古林 良夫 時男 4



県下初発見“方形台状墓”

り、方形に区画し、溝の内側に人頭大から拳大の石をはり着け土止めをし、内側の平坦部に埋葬施設を二基設けてあります。また、今回出土した遺物には、溝内より小形埴一点と中島式土器片・石器があり、耕作者の話によると、以前に鉄の刀が出たそうである。

方形台状墓の特徴は、尾根の先端部にあり、周溝で方形に区画され、あまり高くない墳丘を持つこと、さらには、弥生後期から古墳

前期への過渡期的墳墓であることです。

今回、工場地帯を造成するため、発掘調査をし、たまたま大発見になったわけですが、竜丘地区は、飯伊で最も古墳の多い所ですから、他にもどんな埋蔵文化財が発見できるかもしれません。今後、発掘調査等を行ない、発見された埋蔵文化財は、地域住民に公開し、又保存等充分な対処が望まれる。